

5. 放課後児童クラブ事業（はるかぜ）

（1）利用実績

月	令和6年度		令和7年度	
	実利用人数	延利用人数	実利用人数	延利用人数
4月	6	52	6	57
5月	5	51	6	51
6月	5	42	6	54
7月	5	49	6	57
8月	6	38	6	39
9月	5	50	6	50
10月	5	50	6	56
11月	5	48	6	39
12月	5	45	6	53
1月	5	49	6	45
2月	5	40	5	33
3月	5	50	5	27
合計		564	70	561
平均	5.2	47	5.8	46.8

（2）会議

スタッフ会議 毎月第2・4木曜日 13:00～14:15

事務連絡とケース検討。

- ・令和7年度 放課後等デイサービス(学童)事業所連絡会

5月14日(水) 袋井特別支援学校会議室 1名参加

（3）研修

- ・令和7年度感染症対策研修 7月10日(木) 13:15～14:15 5名参加

（4）保護者会

- ・10月9日(木) 10:00～11:45 開催

はるかぜ閉所の説明をして了解を得る。

（5）活動内容について

通常期間 室内遊び・制作・公園での遊び。

長期休暇期間 夏は半日川遊びや庭でプール遊び、半日は室内活動。他の季節は、少し遠くの公園へ行くなど放課後の時間では出来ない活動をする。

(6) 苦情
なし。

(7) 要望
閉所の説明に残念の声が上がった。

(8) 事故報告
1件 …… 5月、子どもが公園でブランコに乗っている時、足が地面につくタイミングが合わず捻挫。(施設の保険を利用してもらうよう家族に伝えたが、結果として利用しなかった)

(9) 虐待防止に関する事項
なし。

(10) 防災
月1回(8月はなし)避難訓練、又は防災訓練。
8月22日 袋井消防署による立ち入り検査 ⇒ 指摘事項なし。

<障がい児放課後児童クラブはるかぜ 事業終了の報告>

子どもの利用者数減少・障がい特性の偏りなどから個別支援の様相が強くなり、集団の中での子ども同士の関わりが少なくなっていました。年少の子どもは個別の丁寧な支援が必要になりますが、子ども同士の育ちあいの場面が少なくなっていました。子どもの様子の中にも子ども同士での関わりを求める姿が見えるようになっていました。しかし、その環境を与えることが出来ない状況になり、検討を重ねた結果、子どもの成長を第一に考えて今年度いっぱい閉所することを決定しました。

8月に袋井市役所に報告し、10月9日に保護者会を開いて、保護者の方々に説明をしました。保護者の方々からは、1対1支援の安心感を高く評価していただき、袋井市の事業終了2年を残して閉所することを惜しむ声上がり、放デイ化の可能性も問われましたが、最終的に了承をいただく事が出来ました。

子どもたちは、次の利用事業所が決まり次第移行していくと思われましたが、皆さん終了間際まで利用を継続してくださいました。

既に利用を終了した方々に報告をすると、利用はしていなくても「はるかぜ」が存在していることが、何かあったら相談できる場所として心の拠り所になっていた等の声もいただき、あらためて存在していた意義を評価していただき嬉しく思いました。

平成22年4月旧山梨幼稚園内で始まり、平成26年3月に現在の旧医師住宅に引越し、令和8年3月で袋井市委託事業はるかぜを終了しました。

16年間、多くの皆さんからご理解とご協力をいただきましたこと、スタッフ一同厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。